

Volume.042



徳山大学校友会誌

とくだい

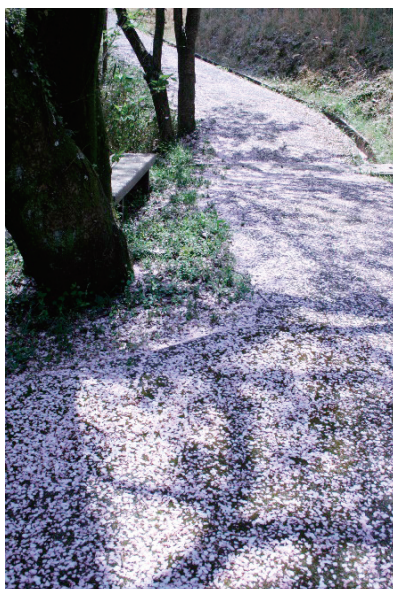
発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内
TEL&FAX 0834(28)7454

発行日
平成30年3月20日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 藤井 辰郎



写真上段から中段左は、春の桜、つつじが咲く風景で、とても心を和まされます。中断右は平成2年に創立20周年を記念して建てられた松下村塾模築です。萩にあるものとそのままのスケールのものが、大学の敷地内にあります。地域に方も勉強会などで利用されることもあります。下段は、徳山夏祭りで本学が神輿参加した様子です。学生が若さいっぱい、元気いっぱいのパフォーマンスで盛り上げてくれました。（撮影：中村道陽）

特集

退職にあたり

経済学部 教授 佐藤英雄

昭和五十年四月、徳山大学へ赴任して以来四十三年間。嬉しいことや悲しいことなど様々な事柄が思い出されます。そのなかで特に思い出深い事は、赴任当初（昭和五十年～六十三年）、教職員全員が一丸となって高校訪問を行い、非常に苦勞をして学生募集をしていた時代の事です。全くの飛び込み状態で汗だくなりながら高校の先生方へお願いをして回ったことが昨日のように思い出されます。スポーツでは、徳大スポーツの生みの親である故田島侃光先生（当時法人本部長）のもと、今日の徳大スポーツの礎を築かれた先生方（レスリング…故佐藤貞雄先生、陸上競技（男子駅伝）…高倉正樹先生、柔道…吉岡剛先生、硬式野球…監督加藤岩夫氏、剣道…榊康守先生等）が大変な苦勞をしてチームを育て、今日の発展に繋がっているものと思います。田島先生からは大学スポーツの指導者としても色々な面で勉強をさせて頂き大変お世話になりました。また、私が四十三年間バスケットボール部の監督として今日まで続けられたのは、四十年近く私の右腕としてチームと一緒に支えてくれた三嶋隆史氏（元法人本部長）の存在があります。



真夏の暑い日も真冬の寒い日もそんなときも体育館で選手の指導を続けられる

出場常連校にまで育ててきました。ここに、感謝を申し上げます。

さて、本学も創立五十周年まであと少しとなりました。今後、より一層「地域に輝く大学」として発展して頂きたいと思います。徳大スポーツのますますの飛躍を楽しみにしながら、これからもサポートをし、応援をして行きたいと思っています。

退職後は、非常勤講師として、引き続きスポーツの科目を担当させていただきます。

最後になりましたが、大学教職員・学生諸君・OB・OGの方々、また地域の関係者各位に感謝申し上げます。四十三年間ありがとうございました。



最終講義のあと、本学卒業生のお嬢さんと



萩往還強歩大会にて

退職によせて

福祉情報学部

教授

石橋孝明

平成二十二年、本学が第三者機関による認証評価を受ける年の十月に赴任してきました。その後、平成二十八年度に代表責任者として日本高等教育評価機構より認証評価を受け、無事適格判定を得ました。

この意味で、徳山大学と私とのかかわりは、第三者評価に始まり第三者評価で終わったという感じがとても強くあります。もちろん、学長、経済学部長を始め全学の教職員の皆さまと一緒に取り組めたことの成果だと感謝しています。一教員としては、教職課程の専任教員として、教職課程の学生の皆さんと時を過ごすことが多く、また、アーチェリー部の監督として、アーチェリー部の皆さんとの思い出もたくさんあります。



卒業生が中・高の教員として巣立ったことや、アーチェリーの中・四国大会で優勝し、全国大会に出場したことなどです。

退職後は、非常

勤講師として、教職課程の科目を担当させていただきましたので、皆様とのご縁が続くことを励みに、今後も徳山大学の発展を祈念していききたいと存じます。



アーチェリー部の学生が焼肉会で送別会を行う。
その後学生代表より花束贈呈



最終講義ののち、岡野学長と記念撮影

★ 懐かしのとくだい～昭和 54 年(1979 年)の大学パンフレットから ★



約40年前の徳山大学の風景です

左手駐車場にはこのあと記念館・野外ステージなどが建設されます。右手グラウンドは長く大学祭のメイン会場でした。

沿革

徳山市は産業・経済の面で著しい発展をとげてきたが、教育・文化の面での交流をはかるべく、4年制大学を招致して、周南をはじめとする地域社会の総合的開発に今後の発展を期した。こうした希いをこめて、徳山大学は昭和46年4月、開学された。当時は、経済学部経済学科のみの単科大学であったが、昭和51年には、時代・社会の要請に応えるべく経営学科を増設した。更に、将来、総合大学への雄飛に備えている。（※当時のパンフレットの大学沿革紹介文です。）



シーズン・スポーツ



太華山オリエンティリング

この時期集中講義の授業として、水泳とスキーが合宿形式で行われていました。

徳山市内のハイキングコースの山大華山に登るレクリエーションもありました。

右はゼミの様子で市内緑地公園での様子です。



学食前の様子です



(研究会)

◎とくだいインフォメーション◎

平成二十九年入学式挙行される

平成二十九年四月二日、平成二十九年徳山大学入学式が記念館で挙行されました。今年度入学生は二九八名でした。学長の式辞の後、新入生代表宣誓では経済学部ビジネス戦略学科、塩田満彩（しおたまあや）さんが「社会に貢献できる人間力を養いたいと思います」と宣誓を行いました。この後、ご多様な中、来賓としてご出席いただいた自民党副総裁・本学名誉顧問高村正彦様、周南市住田英明副市長、周南市議会兼重元議長、徳山商工会議所堀信明副会頭より祝辞を賜りました。式の締めくくりとして吹奏楽団の生演奏による効果斉唱が行われ、粛々とした感動の中、終了しました。

入学式のあとは、学生食堂周辺で新入生歓迎のさくらまつりが開催されました。この祭りでは、徳山大学の協力店による新入生新生活向けの模擬店出店、また学食内でのお茶席や、学生サークルによる徳山大学オリジナル珈琲の無料試飲会、さらには校友会の提供により、入学記念餅まきなど行われ、新入生は歓迎ムードの空気を満喫している様子でした。



新任教員紹介

①出身地②専門③最終学歴
④徳山大学の第一印象⑤着任にあたりひとこと

井出野 尚（経済学部准教授）



- ① 埼玉県
- ② 消費者行動、マーケティング、社会心理学
- ③ 博士（文学）（早稲田大学・二〇一六年）

④ 学生の皆さんがよく挨拶をされる大学だと思いました。

⑤ 学生の方々の話をするのを楽しみにしております。講義・研究と一緒に作っていきましょう。

大坂 遊（経済学部講師）



- ① 徳島県
- ② 社会科学教育、教師教育、地理教育

③ 広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了

④ ウェブサイトのデザインが綺麗で見やすい。高速道路のICから近くて車でのアクセスが良さそうと思いました。

⑤ 教職を希望する学生に「教師だからこそ実現できること」を深く考えさせるような授業をしたいと思います。

ポプラ祭地域とのつながりの
中で盛大に開催される

十一月四日（土）五日（日）第四十七回ポプラ祭が開催されました。今回のテーマは「僕らが紡ぐ物語」。

今年のポプラ祭は大学創立五十周年に向けて今年だけでなく、今年から第五十回がひとつの物語となるようにとの思いをテーマに掲げて運営されました。このために、イベント・出店関係にも地域とのつながりを重視した工夫が随所にみられました。恒例となっている外国人による日本語弁論大会では本学学生を始め周南地区広域から参加者を集めました。また、野外ステージでは山口県を中心に活動するミュージシャンなどのパフォーマンスもあり、好評を博しました。毎年大人気のお笑いライブでは「あばれる君」が登場し盛り上がりを見せました。ポプラ祭の物語は、来年へ続く・・・のでした。



おたよりコーナー

— 校友会にお寄せいただいた
お便りをご紹介します —

● 7期 大阪府在住 前田世之助さん

年1回の会誌楽しみにしています。卒業して大学内の学部組織等の改革により母校の
変革を感じています。周南エリアまた山口在住の大学として益々の活躍応援しています。

● 13期 周南市在住 水津 輝昭さん

校友会誌で最近の大学の様子を見るにつけて、久しぶりにキャンパスを訪ねてみよう
かと思うのですが、同じ市内に住んでいても、どこか気恥ずかしくてなかなか実現しま
せん。昨年から、甥っ子が徳山大学に在学中です。学食のメニューが旨いと誘ってくれ
ます。今年はお薦めの「とろろ肉うどん」を食べに行ってみようかな？掲載の写真に甥
っ子を探す、楽しみが増えました。つぎの校友会誌が楽しみです。

● 17期 愛媛県在住 越智 学さん

毎回、校友会誌を楽しく又懐かしい気持ちで読ませてもらっています。これからも色々
な情報を楽しみにしています。おつかれさまです。

● 31期 周南市在住 佐藤晃一さん

毎回楽しみに拝読しております。31期卒（息子）の父親です。早いもので卒業して
12年が経ちました。表紙の雪景色の写真を見て、卒業式の日を懐かしく思い出しまし
た。息子の卒業式（3月25日）の前日に大雪が降って、卒業式当日は快晴だったもの
の、雪景色の中での寒い卒業式（3月25日）の前日に大雪が降って、卒業式当日は快晴
だったものの、雪景色の中での寒い卒業式参列は、良い思い出となっております。息子
もその後、3回の転職で紆余曲折もありましたが、お陰様で、現在の仕事に、日々頑張
っております。私も安心しております。今後、校友会誌は隔年となるそうですので、ホ
ームページで拝読させていただきます。これからも、徳山大学校友会の皆様のご発展を祈念
しております。

編集部より みなさま、お心のこもったメッセージをいただき、ありがとうございました。

《プレゼントコーナー》

～山口県名産品～

- ① 瀬祭2割3分大吟醸
2名様



- ② 山縣本店（周南）焼酎
2本セット（米・芋）
3名様



- ③ 杉本利兵衛本店（防府）
かまぼこセット
3名様



編集後記・お礼

上記にお示しした以外にも、多
くのお便りをいただいております。大
変励みになります。一年に一回の
会誌発行ですが、これらのお言葉
を胸に、創意工夫を重ねていき
たいと考えています。
これからも校友会の活動をお見
守り下さい。（中村道陽）

— 編集スタッフ —

企画広報部長 藤井辰郎（25期）中村道陽（11期）
藤田美恵（事務局）印刷・デザイン：東洋印刷
協力 徳山大学